

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所ぽとと			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 10日		～	2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2025年 11月 10日		～	2025年 11月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 5日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・18歳以上を対象とした福祉サービス経験者を配置し、今だけの療育ではなく将来を見越した療育ができること。 ・経験豊富な保育士等を配置し、様々な視点から療育を実施できること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童一人一人の特性や性格を見極め、一人一人に合った支援を実施している。 ・小学校入学時に困らないよう、「経験したことがある」と思えるような活動を取り入れ自信や経験に繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の他他事業所と連携し双方間で良い刺激になるよう企画やイベントを今後も継続して実施していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分でできた」という気持ちを大事にし、様々な経験をしていただき、療育プログラムを固定化せず毎回異なるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の成長や特性に応じたプログラムを計画し、段階を踏んで少しずつステップアップできるようなプログラムを組んでいる。 ・「できた」を増やし利用児の自信に繋げていく支援をしている。 ・限界を決めずに可能性を引き出すサポートをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップできる教材作りを今後も行う。 ・今の時代に合ったやり方（教材）や、保護者の方が懐かしいと思う昔のやり方を交えた療育を日々検討しながら実施していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・個別対応し個別療育を実施している点。 <p>自分だけの空間で子どもそれぞれのペースに合わせて療育を実施することで一人一人の細かな面まで見立てができています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達やペースに合わせて療育を実施している。 ・職員がそれぞれ見立てをし小さなサインも見逃さないようにしている。 ・普段は個別であるが長期休みは希望があれば小集団療育も実施している。個別と集団両方の療育を実施し社会性を育てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ならではの療育プログラムを今後も検討する。 ・利用児が楽しく通える空間を今後も継続していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎がない点。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数の問題がある。 ・駐車場が周辺にない事も要因の一つである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところは現状のままを考えている。(療育に専念したため)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会や地域との関わりが未実施なこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開所して間もないため実施することが難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような内容でどのような方法で実施しているか等、他事業所に確認する。
3			